あなたをやさしくエスコートする…

カワムラサイクル

保管用
よくお読みください
保証書別途

三輪歩行車 KW5N

取扱説明書

安全に関するご注意 1

1．各部名称 2

2．お使いになる前に 3

3．操作方法および使用方法 4

4．歩行車の保守・点検 5

5．仕様 6

6．保証 6

このたびはカワムラサイクルの三輪歩行車をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

※ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご利用いただく際には必ず携帯してください。

KAWAMURA 株式会社カワムラサイクル

安全に関するご注意　※ご使用になる前に必ずお読みください。

[表示マークの説明]

⚠警 告　この表示は「人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注 意　この表示は「人が障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⃠禁 止　この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

※ 以下の注意点以外であっても、無理な使用はおやめください。事故の原因になります。

⃠禁 止

- この製品は、歩行車です。それ以外の用途には使用しないでください。
- 屋外に放置すると、サビなどにより製品が劣化します。保管は屋内でおこなってください。

⚠警 告

●この製品を火気に近付けないでください。

※ シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど、危険です。

●勝手に改造・分解しないでください。強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故になる恐れがありますので絶対に改造・分解しないでください。（保証対象外）

●歩行器に腰かけた状態で前方の地面に置いてある物を拾う等、強い前傾姿勢をとらないでください。歩行器が転倒し危険です。

⚠注 意

●ハンドル高さ調整レバーは、確実に締め付けてあるか必ず確認してください。

●歩行車を投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。

●認知症の方がご使用される場合は、部品等を飲み込むことが考えられますので充分ご注意ください。

●回転している車輪に指を差し込まないように注意してください。

●バッグには、１０kg 以上の荷物はいれないでください。

●次のような場所・状況でのご使用は危険です。使用を避けるか、介助者に同行してもらってください。

- ・交通量の多い道路
- ・踏み切り
- ・凹凸の激しい道
- ・夜間、雨や雪、風の強い日
- ・凍結路
- ・深い砂利道や砂道

●この製品は車いすではありません。人を乗せたまま移動しないでください。

●シート（座面）には立たないでください。転倒の恐れがあります。

●片手での走行はしないでください。

⚠注 意

- ● 坂道や傾斜のあるところで腰かけないでください。安定性が悪くなり大変危険です。
- ● 雨ざらしにしたり、雨の日のご使用、ぬかるみ、水たまり等のある場所でのご使用はお避けください。車輪のサビ等により故障の原因になります。
- ●段差や溝、障害物のあるところでは使用しないでください。車輪がひっかかり急停車したり、歩行車が傾き転倒する場合があり大変危険です。
- ●専門家による調整、指導の後にご使用ください。

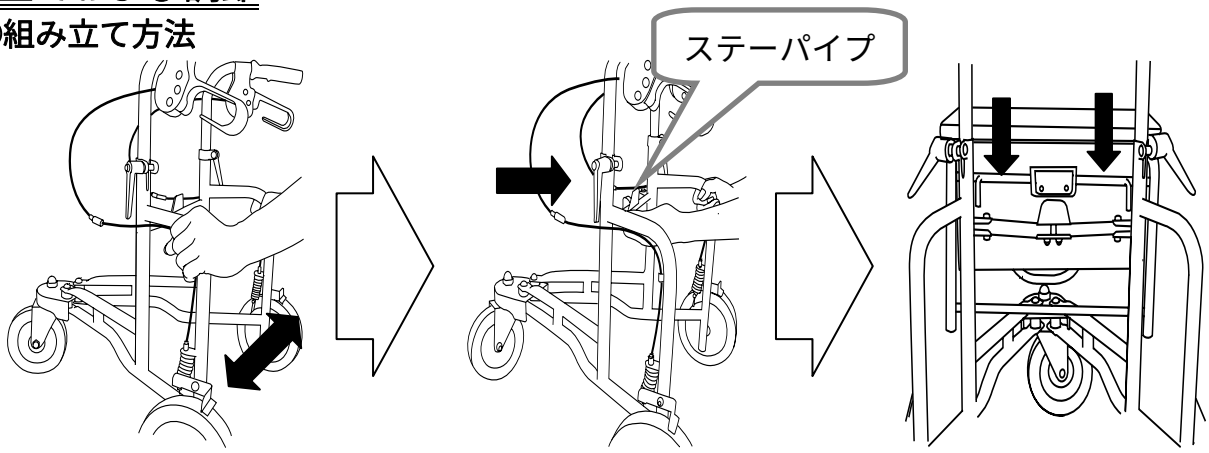
1.各部名称

①手押しハンドルグリップ	歩行される際に握る部分です。
②ブレーキレバー	ブレーキをかける際、握ってください。
（駐車ブレーキ）	レバーを押し下げると駐車ブレーキがかかります。
③バッグのフタ	フタとしても、腰掛けとしてもお使いいただけます。
④バッグ	荷物などを入れられます。
⑤バッグの枠	バッグの取付枠です。
⑥前　輪	自在に方向転換できる小車輪です。
⑦後　輪	回旋しない車輪です。横すべりを防止します。
⑧ハンドル高さ調整レバー	ハンドルの高さを調整する際に使います。調整の際は、しっかりと締め込んでください。
⑨ステーパイプ	バッグを引っ掛けるパイプです。

2.お使いになる前に

組立ておよび調節

①組み立て方法



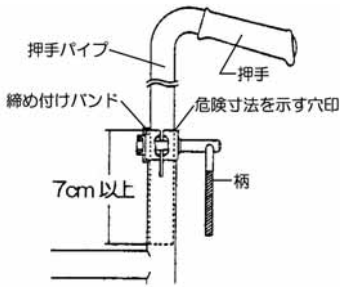
1.ハンドルをフレームに差し込み、フレームを左右に広げて下さい。

2.ステーパイプを一直線になるまで手前に引き、しっかりと一直線になった事を確認して下さい。

3.一直線になったステーパイプにバッグを引っ掛けるように取り付けて下さい。

②ハンドルの高さ調整

・ハンドル高さ調整レバーの柄を回し、ハンドルの高さを調整します。高さが決まったらハンドル高さ調整レバーを回しハンドルを固定します。ただし、押手パイプがフレームに 7cm 以上入っていることを確認してください。



POINT

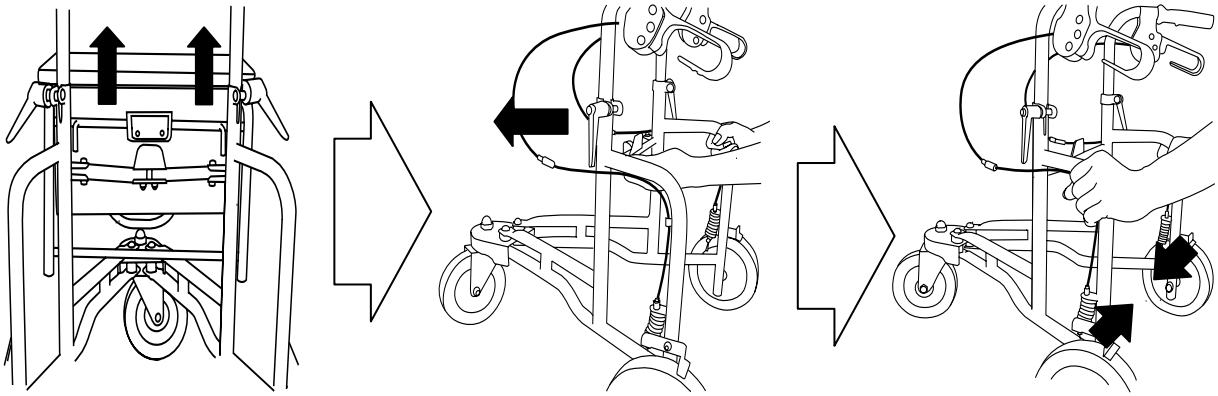
ハンドル高さは、歩行器の後ろに立ち、ハンドルを軽く握ったときに肘が少し曲がるくらいの位置を目安にします。
安全のためにハンドルは左右同じ高さにしてください。

⚠注 意	**ハンドル高さは必ず同じにしてください。 ご使用になる前には必ずハンドルがしっかりと固定されていることをご確認ください。**

③バッグの取り付け方

・バッグの枠を本体前部のフックにしっかりと引っ掛けます。

④折りたたみ方法



1.バッグを取り外します。

2.ステーパイプを軽く前方に折りたたみます。

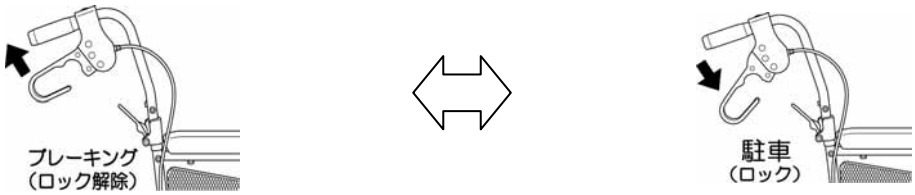
3.左右ハンドルもしくはフレームを握って中央に寄せるようにたたみます。

⚠注意	※ステーパイプを折りたたむ際に指をはさまないようにご注意ください。

使い方

3.操作方法および使用方法

①ブレーキのかけ方



・ブレーキレバーに指をかけ強く握るとブレーキが働きます。
・指を離すとレバーは元に戻ります。
・また、手のひらで下に押し下げるとブレーキがロックされ後輪が固定されます。
・ブレーキをかけたとき左右の後輪がしっかりと止まっていれば正常です。
・解除したいときは、再度レバーを強く引くとブレーキは解除されます。

②腰かけとして利用する場合

・必ず駐車ブレーキをかけて歩行車が固定されている事を確認してからお座り下さい。
・腰掛ける際は必ず平坦な床面で行って下さい。斜面では行わないで下さい。
・歩行車が不安定な時は、腰かけないで下さい。転倒するなどの危険があります。

⚠注意	※傾斜地では駐車しないで下さい。傾斜地では駐車ブレーキを掛けても歩行車が動く場合があり、大変危険です。 ※滑りやすい床面では、駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があります。転倒の危険がございますのでご注意ください。

４.歩行車の保守、点検

この製品を安全にお使いいただくためには、日ごろのお手入れと点検整備が必要です。

★ネジの緩みはありませんか？

ネジ、ノブ類の緩みがないことを確認してください。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐ緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★汚れていませんか？

ホコリや泥などで汚れたときはそのままにしておかず、早めに乾いた雑巾等でふき取ってください。汚れのひどいときは中性洗剤をお使いください。

★ブレーキはしっかり効きますか？

ご使用前には必ずブレーキの効き具合を確認し、効きが悪いときにはご使用をお止めいただき、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★変な音がしませんか？

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかをご確認してください。キャスタ、車輪のベアリング部の油分が不足しているなどの原因が考えられます。原因が不明な場合、修理可能な場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

★三点接地していますか？

前輪一輪と後輪二輪が接地しているかご確認ください。三点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。

★消耗部品の交換は必要ですか？

タイヤなど消耗部品の磨耗がないか確認し、磨耗が激しい場合には交換依頼してください。KW5N はメンテナンスのみの対応となります。車輪の販売等は致しかねますのでご了承下さい。メンテナンスのご依頼の際にはまずお買い上げの販売店までご連絡ください。

異常が見つかったらご使用を中止してください。

5.仕　様

品名・名称	標準仕様・規格
	KW5N
材質（本体）	スチール製
（バッグ）	枠：スチール　　バッグ、フタ：ナイロン製
全高　（mm）	６９５～９４５（無段階）
全長　（mm）	４７０
全幅　（mm）	５７５
前車輪　（in）	6
後車輪　（in）	7
ブレーキ	ワンタッチ駐車ブレーキ（ループ式）
重量　（kg）	９．７
耐荷重（ハンドル）　（kg）	１００
（シート）　（kg）	１２０

6.保証

★保証書

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に弊社へご返送ください。

保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

★補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5 年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

★修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用をお止め頂きお買い上げの販売店にご依頼ください。

★保証期間後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

★保証の適用除外となる場合

（ａ）ご使用による消耗品および取扱不注意による破損
　例）タイヤの磨耗、シートの破損等

（ｂ）地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損

（ｃ）お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損

（ｄ）保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損

（ｅ）弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損

（ｆ）一般に歩行車が走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損

地球の環境保護のため、
廃棄するときはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。

株式会社カワムラサイクル
KAWAMURA

■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地3－9－1	TEL078-969-2800
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地3－9－1	TEL078-969-2820
■さいたまサービスセンター	〒338-0002	さいたま市中央区下落合7-11-2	TEL048-832-0168
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷1－8－3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野2－12－9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町1－3－11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒564-0044	大阪府吹田市南金田2－20－10	TEL06-6190-8488
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原1－18－3	TEL092-882-4722

■神戸工場　■神戸第二工場　■いなみの工場　■メンテナンスセンター

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。

2007.3